

平成24年度 外国人住民県政モニター 提言

- (1) 観光のPR
- (2) 和食の体験
- (3) 外国人の意見交換・英語でのアンケート
- (4) 道徳教育・子育て支援

- ※ 平成24年度の提言から抜粋して掲載しています。
- ※ 表記や表現を改めた部分があります。

➤ (1) 観光のPR

◆ モニターの提言

埼玉県は行く所がきまっています。

日高の高麗神社、秩父、川越。それ以外は思いつきません。

だからアニメや漫画のイベントを増やしてほしいです。

若い人をよばないと、いまだにだれも、埼玉県は日本のどこにあるのか知りません。

ただ東京から近いとしか説明ができないです。 (さいたま市在住)

◆ 国際課からの回答

埼玉県には、歴史や伝統がある場所、花や自然が美しい場所がたくさんあります。

しかしご意見のように、あまり多くの人に知られていないのは残念なことです。

アニメの舞台となった場所が多いということや東京に近いということをかいて、若い人もたくさん埼玉に遊びに来てくれるようにPRしていきます。

県は国際観光PRアニメ「The Four Seasons」を動画サイトで公開しています。

日本語のほかに英語、中国語、フランス語、韓国語の字幕が付いています。アニメに登場した場所や行き方も紹介しています。

ぜひ見てください。

そして埼玉県のいろいろな所におでかけしてみてください。

- ・ 「The Four Seasons」 <http://www.skipcity.jp/channel/ani/>
- ・ 「ちょこたび埼玉 多言語版」 <http://www.sainokuni-kanko.jp/kr/>

➤ (2) 和食の体験

◆ モニターの提言

和食の文化の宣伝のために、和食体験できる場所があったらどうでしょうか？

(川口市在住)

◆ 国際課からの回答

埼玉県にはおいしい料理がたくさんあります。

和食が食べられるお店もたくさんありますが、ご意見のように、料理を食べるだけでなく和食を文化として体験できる場所があれば、外国人のみなさんもよろこぶでしょう。

県内には、そば打ちを体験したり、しょうゆづくりを見学したりできる場所があります。

また、旅館に泊まって懐石料理を食べたり、民宿で家庭料理を味わったりすることも、よい和食体験となるでしょう。

そのような場所をPRして外国人のみなさんに和食を体験していただけるようにしていきます。

- ・ 「ちょこたび埼玉 多言語版（食文化のページ）」
<http://www.sainokuni-kanko.jp/cn/foods/>

➤ (3) 外国人の意見交換・英語でのアンケート

◆ モニターの提言

1. モニター同士のミーティングを毎月する（意見交換）。
（県レベルで、モニターの定例会（月例で）を毎月開く）
2. グローバルのビジョンをはっきり示す。
英語の訳を作って（アンケート）多くの外国人に意見を聞く（よければ、私と妻が英訳しますよ）。
（アンケートや調査も英訳を用意すれば、もっと多くの外国籍の方から意見を頂け、行政に反映できる）
（春日部市在住）

◆ 国際課からの回答

1. 「彩の国さいたま国際交流・協力ネットワーク」では2013年1月から3月の間に、県内各地で意見交換会を開催する予定です。
このネットワークはNGOや市町村がメンバーになっており、意見交換会にはメンバー以外の皆さんも参加することができます。
日時や場所が決定したらモニターの皆さんにもお知らせしますので、ぜひ参加してください。
2. 埼玉県は今年、「埼玉県5カ年計画」や「埼玉県多文化共生推進プラン」を作りました。このプランをもとに、外国人住民と日本人が共に生きる社会を作りながら国際交流や協力を推進するための取り組みを進めていきます。
現在埼玉県には、いろいろな国籍の外国人住民が約12万人います。
ご意見のとおり、日本語以外の言葉でもアンケートに答えたり意見を言ったりすることができれば、より多様な立場の外国人住民の意見を聞くことができるでしょう。
また、外国人住民の日本語学習を支援することで、日本人とのコミュニケーションや意見交換をスムーズにすることもできるでしょう。
このたびは、翻訳のご協力の申し出をいただきありがとうございました。
もっと多くの外国人住民の意見を聞き、行政に反映するにはどのような方法が良いか検討していきますので、今後ともよろしく願いいたします。

➤ (4) 道徳教育・子育て支援

◆ モニターの提言

子どもの教育は家庭や学校でおこなっていますが、学校では子どもに教育の真価や道徳心などを十分に教える必要があると思います。家族もその情報を共有すると思います。情報を共有するために学校で保護者会などを行えばよいと思います。

そのほかに、将来のため今まで以上に子育て支援を充実させてほしいと思います。
(伊奈町在住)

◆ 国際課からの回答

【道徳教育について】

埼玉県は、「生きる力と絆の埼玉教育プラン」を作り、教育について様々な取組を進めています。

このプランの目標のひとつに、「豊かな心と健やかな体の育成」があり、その中で道徳教育の充実を目指しています。

埼玉県では、子供たちの豊かな心をそだてるために、独自に「彩の国の道徳」という教材を作りました。

埼玉県の公立の小学校、中学校、高校では、子供たちはこの教材を読み道徳を学んでいます。

この「彩の国の道徳」には、親に向けたものもあります。保護者会で親も道徳教育について学ぶことで、学校と家庭が協力して道徳教育を進めていくことができるようになっていきます。

ぜひ「彩の国の道徳」を読んでみてください。

これからも学校と家庭と一緒に教育に取り組めるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

【子育て支援について】

埼玉県は少子化が進んでいます。いただいたご意見のとおり、将来をささえる子供を育てる環境を充実させることは、とても大切です。

そこで埼玉県は、保育サービスの充実や、子育てしやすい社会づくりを進めています。

保育所であずかる子供の数をふやしたり、女性も男性も仕事と子育てを両立できるように、会社や県民のみなさんに、理解や協力を呼びかけています。くわしくは、「埼玉県子育てコバトンプラン」を見てください。

また、「埼玉県外国人の生活ガイド」では、子育てを支援する制度や、子育ての相談ができるところを紹介しています。「児童相談所」や「ファミリー・サポート・センター」などがありますので、相談したり、利用したりしてみてください。